

平成26年7月17日

## 河口堰に大量のゴミが漂着!!

～先日(7月3日、7月6～8日)の大雨で、遠賀川河口堰に流れ着いたゴミを撤去しています～

7月3日、7月6～8日の大雨によって、遠賀川河口堰に大量のゴミが流れ着きました。

15日までに、**約2,100m<sup>3</sup>**の陸揚げ作業を行いました。これは小学校のプール(25m×10m×1m)8.4杯分にあたり、昨年度に回収した塵芥量と同等にあたります。

ゴミをそのまま放置すると、水質など河川環境の悪化、河口堰ゲートへの損傷や操作の支障となります。また、海岸への流出の恐れもあるため回収を迅速に行っています。

**今後、約1ヶ月半をかけて、陸揚げしたゴミを手作業にて分別し処分を行う予定です。**



ゴミの撤去作業(陸揚げ)状況(7月14日撮影)

ゴミの多くは草木類です。その他ペットボトル、発砲スチロール等の生活ゴミですが、様々な種類のゴミが混在しています。

**遠賀川はみんなの川です。その水は多くの人々の飲み水としても利用されています。今後も流域内の関係機関や住民団体等と連携し、ゴミ問題に取り組んでいく考えです。**

【投げ込み先】 ○北九州地区

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 遠賀川河川事務所

管理課長

房前 和朋

河口堰管理支所長

吉永 勝彦

(遠賀川河川事務所)

TEL 0949-22-1830

(河口堰管理支所)

TEL 093-201-1675



九州地方整備局では、一般の方が見学できる現場見学会情報「今見てほしい九州の土木」をHPで公開しています。  
<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-torikumi/kyushu-doboku/index>

## (参考資料)

### ○近年のゴミ回収量

遠賀川河口堰は、水巻町と芦屋町にまたがる遠賀川最大(長さ517m)の可動堰です。

遠賀川の最下流に位置する河口堰には、大雨が降って洪水になる度に遠賀川流域のゴミが大量に流れ着きます。その量は洪水の規模や回数に左右されますが、近年の河口堰で回収したゴミの量は下表のとおりで、処理費用は年間約2千万円程度です。

年	ゴミの量
平成22年度	2, 100m <sup>3</sup>
平成23年度	1, 200m <sup>3</sup>
平成24年度	4, 800m <sup>3</sup>
平成25年度	2, 300m <sup>3</sup>
平成26年度	2, 100m <sup>3</sup> (7月16日現在)

### ○塵芥回収方法

フェンスで囲ったゴミを岸の方へ引き寄せ、バックホウで陸揚げした後に、分別作業(可燃物・不燃物)を行います。



全体を望む(7月14日撮影)



山積み状況(7月14日撮影)

### ○塵芥捕捉施設の設置

平成25年3月に、遠賀川河口堰の上流250m付近に、長さ203mの塵芥捕捉施設(網場)を設置しました。

平成25年度は、河口堰のゲート前と塵芥捕捉施設で2, 300m<sup>3</sup>回収し、そのうち約6割にあたる1, 385m<sup>3</sup>の塵芥を塵芥捕捉施設にて回収しました。

今年度も、約1, 400m<sup>3</sup>(約7割)の塵芥を塵芥捕捉施設にて回収しました。